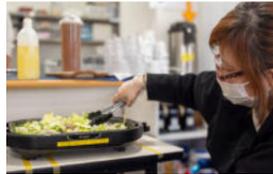


各デイサービスセンターでのイベントの様子です♪

舎の灯

調理レク



この日のメニューは「焼きそば」と「おにぎり」。利用者様みんなで役割分担をして、野菜の洗浄からカット、ホットプレートでの調理まで協力して行いました。普段とは違う、みんなで一緒に作り上げる食事に、自然と笑顔がこぼれ、温かい時間を過ごすことができました♪



香音清田

花壇苗植え・水やり



施設の庭にお花の苗植えと菜園作りを始めました。施設内の庭なので汚れを気にすることなく、思いっきり土に触れることができる環境です。外の空気を吸いながらの作業は、みなさんにとってとてもリフレッシュできる時間に。これからの成長をみんなで観察していくのが、楽しい日課になりそうです！



Topics News!

ろく舎の杜 夏祭り

ROKUSYANOMORI SUMMER FESTIVAL 2025

7月29日(火) 開催

昨年に引き続き、今年も開催します！一般公開しておりますので地域の方・ご家族様、皆さまぜひお越しください。お待ちしております。

編集後記

今回は新年度を迎えたくろ舎の会議と研修をご紹介しました。毎回のことですが、新年度と聞くと新たな気持ちとやる気で満ちていきます(笑)。7月29日には昨年に続き2回目の「ろく舎の杜 夏祭り」を開催しますので、お時間の合う方はどうぞお越しください。現在「夏祭りプロジェクトチーム」を立ち上げ、皆様に喜んでいただける企画を進行中です。皆様楽しみにお待ちください。

総務部・企画課 / 部長：菅野 有二

最新の情報から日々の様子など、随時更新しています！

コーポレートサイトのブログは毎週新しい記事がアップされます。ぜひチェックしてみてください♪

コーポレートサイト



採用専用サイト



ろく舎の杜特設サイト



Instagram



新年度 はじまりました

new fiscal year

全体会議



新たな一歩を踏み出す「決意と期待」

新年度の始まりに合わせて、全体会議を開催しました。新たに任務に就く職員への辞令交付、各部門からの事業計画発表、そして会長からの激励と、充実した内容になりました。



辞令交付式では、理事長から新任務に就く職員へ直接、任命書が手渡されました。「身が引き締まる思いです」「新しい役割に責任を持って取り組みます」と、新たな一歩を踏み出す緊張と期待が入り混じる表情が印象的でした。

事業計画発表では、各部門がサービスの質向上や地域連携強化に向けた具体的な計画を発表。「他部署の計画も知ることで、法人全体の方向性が見えてきた」「自分の仕事の位置付けが明確になった」といった、前向きな声が上がりました。

会の締めくくりには会長から心のこもった激励の言葉があり、改めて福祉の仕事の本質や意義を振り返る貴重な機会となりました。

今期から「ろく舎型キャリアパス」を導入し、職員がキャリアを積む道筋を文章と図で明確化しました。年2回の人事考課と連動した一体的な運営について、職員全体で共有を図りました。

当日は長尾部長によるオリエンテーションから始まり、パワーポイントを使用してキャリアパスについて学習。その後のグループワークでは活発な意見交換が行われ、各グループから発表がありました。

参加職員からは「人事考課の指標が統一され分かりやすくなった」「自身の役職に必要な目標が明確になった」「さらに上のキャリアを目指して頑張りたい」といった前向きな声が多く聞かれ、有意義な職員研修となりました。

職員研修

共に学び、成長する場「キャリアパス研修」



海陽亭

看護と介護の専門スタッフが24時間365日体制でご利用者の暮らしに寄り添います。医療処置が必要な方でも、住み慣れた我が家で、安心して生活を続けていただけるよう支援いたします。



専門的な 看護ケア

1 医療処置に対応した 在宅生活支援

- 在宅酸素治療の管理・調整
- 胃ろうや経鼻経管栄養の栄養管理
- 人工肛門(ストーマ)の専門的ケア
- 褥瘡(床ずれ)の予防と処置



2 健康管理と 予防ケア

- 定期的なバイタルチェックと状態観察
- 服薬管理(内服薬の管理、副作用の観察)
- 血糖値のモニタリングと糖尿病ケア
- 脱水や感染症の予防ケア



医療・看護・リハビリが連携することで、ご利用者様一人ひとりの状態に応じた質の高いケアを提供し、住み慣れた地域での生活継続を支えています。医療的ケアが必要な方でも安心して在宅生活を送れるよう、専門的な看護ケアから日々の健康管理、そして生活機能の維持・向上まで、包括的にサポートいたします。

3 リハビリテーションの連携

- 理学療法士による個別リハビリプログラム
- 日常生活動作(ADL)の維持・向上支援
- 住環境の評価と改善提案

お看取りケアの具体的な取り組み

1 本人の 意思と尊厳 を大切にしたケア

- 望む場所で最期を迎えるための環境調整
- 痛みや不快感の緩和ケア
- 好みの音楽や香り、温度など五感を大切に環境づくり
- その方らしさを尊重したケアプランの作成



2 ご家族への サポート

- 状態変化についての丁寧な説明と心の準備のサポート
- ご家族が看取りに参加するための調整
- 24時間の連絡体制による安心の提供

3 多業種連携 によるチームケア

- 医師との24時間連携体制
- 薬剤師との協働による症状コントロール
- 介護士・看護師・リハビリ職など多職種による総合的なケア

人生の最期まで尊厳を持って過ごしていただけるよう、ご本人の意思を最大限に尊重したお看取りケアを提供しています。医師・薬剤師・看護師・介護士など多職種が24時間体制で連携し、ご家族の心に寄り添いながら、望む場所で安らかに最期を迎えていただけるよう総合的にサポートいたします。

海陽亭の日々の取り組み特集♪

在宅ケア連絡会に参加しました



5月13日に開催された「第211回 札幌市中央区在宅ケア連絡会」に佐々木管理者が参加してきました。今回は「中央区の小多機、どこにある?どう使う?」をテーマに、中央区内の小規模多機能型居宅介護(看護)サービスが特集され、当海陽亭も事例紹介を行いました。連絡会には地域の医療・介護関係者をはじめ、利用者様やご家族など多数が参加。海陽亭からは「医療ニーズと介護ニーズを同時に対応できる強み」について、具体的な事例とともに発表しました。他の事業所との情報交換を通じて各事業所の特色や工夫を学ぶ貴重な機会となり、地域の訪問診療医や訪問看護ステーションとの連携もさらに強化されました。今後も定期的に参加し、地域における海陽亭の役割を果たしていきます。



職員の 訪問ツアー を実施しました

5月に海陽亭の職員訪問ツアーを実施しました。看護小規模多機能居宅介護支援事業所海陽亭の理解促進を目的とし、22物件を5エリアに分け各物件の施設長・サ責の皆様にご参加いただきました。座学から建物見学、質疑応答まで充実した内容となりました。以前住んでいた物件の職員さんと再会した時の入居者様がとても嬉しそうに楽しそうに驚いた表情をされていたのが大変印象的でした。このように海陽亭に訪れることができるようになれば、利用者さんの孤独感を少しでも解消できるのではと感じました。また、参加された職員の中で、想定よりも海陽亭のことを知ってくれている方と、存在だけを知っているといったように、同じ物件責任者の方でも海陽亭の認知度に大きな差があることが大きな気づきでした。『遠くて遠い海陽亭』から『身近な海陽亭』になったとの声もあり、有意義な見学ツアーとなりました。



北海道大学様 見学会を開催しました



5月27日、北海道大学高齢者歯科の尾崎先生・奥村先生が海陽亭を見学されました。施設内のご案内と概要説明から始まり、お看取りケアについてのご紹介、利用者様のお食事の様子見学と交流を行いました。食事準備から口腔ケア、後片付けまでの一連の流れをご覧いただき、利用者様との温かな交流も生まれました。見学後のお打ち合わせでは、今後の連携についても有意義な意見交換ができました。



後日、尾崎先生から「皆さんの熱心な働き方に感動を覚えると共に、学生にもより終末期に近い介護の現状を知ってもらいたいと思いました。私自身も改めて介護の大切さを学ばせていただきました」との温かいお言葉をいただきました。このような見学を通じて、医療と介護の連携がさらに深まり利用者様により良いケアを提供できる環境づくりにつながることを期待しています。

海陽亭では、地域との連携強化とサービス向上を目指し、様々な取り組みを積極的に行っています。

札幌市中央区在宅ケア連絡会への参加で地域の医療・介護関係者との情報交換を深め、職員訪問ツアーの実施により物件関係者との相互理解を促進し、北海道大学高齢者歯科の先生方をお迎えした見学会では医療と介護の連携について有意義な意見交換を行いました。これらの取り組みを通じて「遠くて遠い海陽亭」から「身近な海陽亭」へと認知度向上を図り、今後も継続的な活動により地域に根ざしたより良いサービス提供に努めてまいります。